



22

FEBRUARY

げつようび

ちえのあるいきかた

伝道7:4 知恵ある者の心は喪中の家に向き、愚かな者の心は楽しみ
の家に向く。

3 Today

きょうのいのり

人類の歴史上、ソロモン王のように富と栄華を味わった人はいません。しかし、伝道者の書を見れば、年をとったソロモンは、人生のむなしさを告白して、これを克服する道を語ってくれています。

「白の下のすべてのものがむなし」このことばは、ソロモンが残した有名なことばです。これは、いくら良い家に住んで、良い自動車と宝石を持って、神様に会うことができない人生ならば、結局は、不幸であることを意味します。それとはちがひ、物質的には足りなくても、神様に会った人ならば、本当に幸せと満足を感じることができます。

ソロモンは「創造者である神様を覚えなさい」と言いました。続いて、神様の前で祈りと賛美をささげて、たましいを救う生き方が、最高に知恵のある生き方だと言いました。それは、神の子どもの生き方を言うのです。ソロモンの告白を覚えながら、私たちに知恵のある生き方を与えてくださった神様に感謝する一日を送りましょう。

2015. 11. 21 核心訓練メッセージ

もくそうしよう



定期祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

イザヤ 57

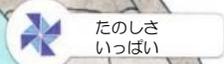
二百一章

神様のみことばを読もう

かくれている

えを みつけよう

ものさし、はっぱ、きのこ、えんぴつ、バット



おいのり
しよう

父なる神様！私を神の子どもにしてください、ありがとうございます。創造者である神様を覚えて、祈りとさんびをささげる生活に集中させてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



23
FEBRUARY

かようび

かんしゃの いのりを ささげよう

使徒14:3 それでも、ふたりは長らく滞在し、主によって大胆に語った。主は、彼らの手にしるしと不思議なわざを行なわせ、御恵みのことばの証明をされた。

3
Today

きようのいのり

イエス様は、十字架にかかれることによって、すべての問題の原因になる罪の問題（原罪）を解決されました。しかし、世の中には、創世記3、6、11章が語っている不信仰と霊的問題が、あいかわらずいっぱいあります。それゆえ、サタンはこれを通路として、患難と迫害を作り出したりもするのです。

聖書には、迫害に耐えた人々の話が記録されています。ダニエルの場合、次の日に死ぬようになる状況がきたのに、一日に三回ずつ神様に感謝の祈りをささげました。パウロもやはり、極限の困難の中でも神様に感謝を告白しました。

このように、感謝は、患難と迫害に勝つ最も良い武器です。私たちが、目の前に見える困難にだまされずに、感謝と祈りで問題を越える人になるように挑戦しましょう。

2015. 11. 22 インマヌエル教会聖日1部

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう

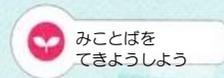
きようのみことば

イザヤ 58～59

目次

神様のみことばを読もう

ダニエルのように、一日三回感謝のいのりをささげましょう



	あさ朝	ひる昼	よる夜
じかん時間			
にぎ握った みことば			
いの祈りの課題			
いの祈りの答え			



おいのり
しよう

父なる神様！ダニエルのように、患難と迫害がきても、感謝の祈りで乗り越えることができる人にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かみさまが くださる りめんけいやくを にぎろう

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

3 Today

きょうのいのり

聖書の中の信仰の人々は、神様との特別な秘密の約束である「裏面契約」を持っていました。代表的な人物として、ヨセフを上げられます。

幼い時期に、ヨセフは、11のわらの束、11の星と太陽と月が自分におじぎをする夢をみました。ヨセフは、この夢をただの夢だと終わらせなかったのです。神様がくださった特別な秘密の約束として思いながら、家庭、国、世界を生かすというすてきなビジョンを心に刻んだのでした。ときには難しい状況に出会ったりもしました。しかし、そのときごとに、ヨセフを立て起こしたのは、神様がくださったみことばでした。どんなに大きな苦難と苦痛であっても、神様のみことばには勝つことができないのです。

神様は私たちにも「裏面契約」をくださいました。使徒1章8節のみことばです。神様がただ聖霊に満たされれば、地の果てまで福音の証人になる生活を送るようになる約束してくださいました。私たちも、ヨセフのように、みことばを心に刻みながら、世界を変化させる大きいビジョンを心に抱きましょう！

2015. 11. 22 インマヌエル教会聖日2部

もくそうしよう

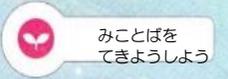
定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

イザヤ 60

📖

神様のみことばを讀もう



かみさま わたし
神様が 私たちにくださった 裏面契約です。

みことばを みつけて、 書きましょう。

マタイ 28:16~20

マルコ 16:15~20

使徒 1:8



おいのり
しよう

ちち かみさま しと 1 : 8のみことばをにぎって、ち 地の果てまで福音の証人となる人生を生きる
ことができますように。問題が来ても、神様のみことばを握って、堂々と越えて行くこと
ができますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン



25

FEBRUARY

もくようび

わたしの げんばで しめいを はっけんしよう

Ⅱコリント5:17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

「アン・サリヴァン」(Anne Sullivan)は、ヘレン・ケラーの先生として有名な教育者です。幼い時期、彼女は弟といっしょに孤児院に送られて、ふだんから腰の病気があった弟が死ぬ苦しみをあじわいました。この他にも、幼い年齢で耐えるのが難しい苦難は続きました。

しかし、神様を頼る信仰を回復して、アン・サリヴァンは、神様がくださった使命を発見するようになりました。この使命感を持って、三重苦(視覚、聴覚、言語障害)を体験していたヘレン・ケラーをすてきな指導者になりました。アン・サリヴァンは多くの困難を経験したのですが、神様がくださった恵みと使命のおかげで、偉大な教育家というすてきな作品を残すことができました。

私たちもアン・サリヴァンのように、すてきな作品を残すことができます。みことばと祈りを通して、家庭、学校、教会現場で神様がくださった使命を発見してみましょう。使命を発見した人は、それ自体だけで成功した人です！

2015. 11. 17 地域伝道弟子訓練メッセージ

もくそうしよう



定期祈りに参加したらチェックしよう

3
Today

きょうのいのり

きょうのでんどう

きょうのみことば

イザヤ 61~62

いちにじゅう
二一章

神様のみことばを讀もう

みことばを
てきようしよう

めいろ

スタート

おいのり

ゴール

父なる神様！いま、私にくださっている家庭、学校、教会現場で、神様がくださる使命を発見して、すてきな作品を残していくことができますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン



26
FEBRUARY

きんようび

きょうかいの しゆくふくを あじわおう

エゼキエル 47:1 彼は私を神殿の入口に連れ戻した。見ると、水が神殿の敷居の下から東のほうへと流れ出ていた。神殿が東に向いていたからである。その水は祭壇の南、宮の右側の下から流れていた。

3
Today

きょうのいのり

神様は、私たちが教会の祝福を味わうことを願っておられます。教会の祝福とは、私たちの教会でささげる礼拝と賛美、祈りの力（霊的な力）が、私がいる現場に伝えられることを言います。

これを神の国が臨んだと言うのです。神の国が臨めば、暗やみの勢力が崩れて、神様の善なる祝福がいっぱいになります。問題と危機に見えた事は、聖霊の働きで自然に解決されて、人々との関係も平和に保たれるのです。このように、神様は私たちの足が踏む現場ごとに、先に祝福してくださっています。

どのようにすれば、私がいる現場に神の国が臨むのでしょうか。いちばん重要なことは、礼拝に集中することです。聖日（日曜）に礼拝がはじまる前にあらかじめ到着して、神様の御声を聞かせてくださいと祈りましょう。また、礼拝時には、ただ神様に栄光をささげ、神様を賛美する時間を味わいましょう。私のからだは教会の中にいますが、同時に神様は私の家庭、学校、その他のすべての現場に聖霊で祝福されるでしょう。

2015. 11. 17 70人要員訓練メッセージ

きょうのでんどう

もくそうしよう

📍📍📍 定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

イザヤ 63~64
一日一章
神様のみことばを讀もう



きょうかいはなか 教会の中をきれいにかがりましょう

みことばを
てきようしよう

おいのり
しよう

ちちなる神様！教会の祝福を通して、私がいるすべての現場に神の国が臨みますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



27

FEBRUARY

とようび

ききは かみさまと もっと ちかづく じかんです

詩篇23:4 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわ
ざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あ
なたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

詩篇は、ダビデが神様をほめたたえて、信仰を告白した詩です。このよ
うに、すてきな作品を残すほど、ダビデは福音を愛して、神様を礼拝して
いた人でした。

生活をしていたら、だれでも、たびたび難しいことを体験します。ダ
ビデもやはり、私たちと同じように危機に陥って、限界を感じました。
しかし、ダビデは、現在の状況にだけ留まらなかったのです。困難にだ
まされなくて、むしろ、その状況の中で神様のよい計画を見せてくださ
いと祈りました。神様は、ダビデの告白に喜んで祝福されました。

普通の人々は、危機がくればいやがって、縮こまります。また、不信仰
になって、祈りも、のがすようになります。今からダビデのように、危機
に対する方法を変えてみることにしませんか。危機は神様とさらに近づく
機会、信仰が一段階さらに育つ過程だと考えるのです。神様は信仰が
大きい人に、大きな答えをくださるでしょう。

2006. 11. 18 レムナント伝道学 61 講

3
Today

きょうのいのり

Blank space for prayer notes.

きょうのでんどう

Blank space for devotion notes.

きょうのみことば

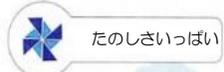
イザヤ 65

神様のみことばを機もろ

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう



危機の中でも神様を賛美する詩を書いたダビデのように
信仰の告白が入った詩を書いてみましょう



おいのり
しよう

父なる神様！危機がきても、不信仰になりませんように。神様とずっと近づいて信仰が育つこと
ができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン